

淺野研眞 あしのけんまこと 京教社會學者、僧侶。明治二十一年七月（二十五日）愛知縣生れ、昭和十四年七月七日没（八六—一九元）。日本大學卒。母校の社會學部研究室助手の傍ら東京經濟學院の創設に努めた。昭和二年（一九二七）フランス留學。歸朝後新興教育研究所設立に参加、十年佛敎社會學院を開設。全日本佛敎青年同盟理事、日本佛敎協會・日本佛敎協會各理事を務めた。

著書に『インタンションの發達史』（大正十四年十一月五日文化學會出版部「社會問題叢書」）、『社會現象とこころの宗教』（昭和二年五月十五日大雄閣）、『社會と診斷する一性と犯罪と社會福利』（昭和七年六月十九日東書院）、『無神論と反宗教運動一その史的展覧』（昭和七年七月二十日大雄閣）、『マルクス主義物語』（昭和八年二月十四日大雄閣）、『明治初年の帝國僧』注田介石『（昭和九年一月十日東方書院「日本宗教講座」）、『社會宗教とこころの佛敎』（昭和九年七月十八日大雄閣）、『女性のための佛敎』（三版・昭和十一年七月十五日構成館書房）等の他、注田介石著『帝國英雄伝』（昭和十四年一月）『法華藏經』（大友社）出版。

